

# 第14回 環境 やまがた 大賞 受賞者のご紹介



環境やまがた大賞とは、山形県が、地球環境または地域環境の保全と創造に関する普及啓発、実践活動を行い、大きな成果が認められる個人または団体を広く募集し選考のうえ、顕彰を行うものです。

受賞者の活動を紹介することにより、県民の皆様による主体的な環境保全活動を促進することを目的としています。

14回目となる今回は、3団体の受賞となりましたのでご紹介します。

表彰式は、平成25年10月27日にやまがた環境展の中で行われ、森谷山形県環境エネルギー一部長から受賞者に賞状が手渡されました。





第14回  
環境  
やまがた  
大賞

手ノ子地区協議会 (飯豊町)  
里づくり推進委員会雁沢部会

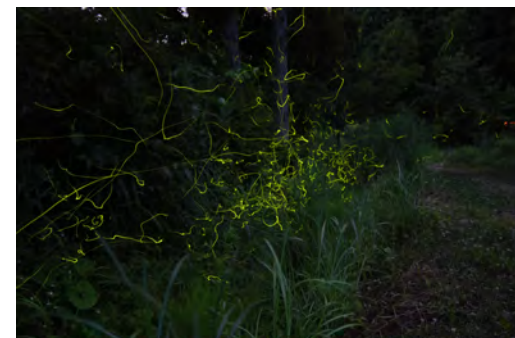
雁沢川の環境保全活動と「ホタルの里づくり」



雁沢川をホタルのすめる環境にしようと「雁沢ホタルの里づくり活動」に取り組んでいます。

雁沢川周辺の清掃、草刈り、ホタルの幼虫飼育、子どもを対象としたホタル生態学習会・放流会を行っています。

さらに、ホタルまつりを開催したり、その際、ホタルの鑑賞者の案内をする「ホタルガイド」も配置したりと積極的に情報発信しています。





第14回  
環境  
やまがた  
大賞

# 大山公園再生協議会(鶴岡市)

## 地域住民の手で広大な大山公園の景観を再生



桜の名所として知られていた大山公園は手入れが行き届かず荒廃していましたが、大山上池・下池などを望むかつての景観を取り戻すため、平成20年1月、地域住民が協議会を設立しました。

公園は約7.2ヘクタールもありますが、地域住民自ら、200名ほどの地権者の一人ひとりに理解と協力をお願いしながら、雑木の伐採、桜などの手入れ、植栽などに地道に取り組んでいます。



手入れ前



手入れ後



第14回  
環境  
やまがた  
大賞

# 笹川土地改良区(鶴岡市)

自然を守り未来に繋ぐ  
「笹川」をテーマとした環境教育



農業用水を取水している「笹川」(藤島川)は県内でも有数の「水無し川」で渇水に悩まされていますが、それゆえに地域が一体となって自然環境の保全に取り組んでいます。

特に未来の子ども達にその自然を繋ごうと、学校や「おやじの会」などとも連携しながら、幼稚園から小学校6年生まで「笹川」をテーマとした体験型の環境学習を長年、支援しています。

